

環境が人をつくる。環境は人がつくる。 学校ができること、家庭ができること、地域ができること

「環境が人を作る」とは、よく言われることです。人格形成において、環境が与える影響は、はかり知れません。古代中国（春秋戦国時代）の儒家・孟子は「人は生まれながら善である（性善説）」といました。人は生まれながらに善なる存在であるが、環境が整備されなければ次第に悪くなってしまうということなのでしょう。一方、同時代の荀子は「人は生まれながら悪である（性悪説）」と唱えました。人は生まれながらに悪なる存在なので、環境を整備していかなければ善くならないということなのでしょう。どちらが正しいのかはわかりませんが、いずれにしても、生まれてからの環境や教育によって人は善にも悪になることは変わりありません。子供たちの健やかな成長には、環境整備が欠かせません。ここでいう環境とは、キリスト教の新約聖書が「人はパンのみにて生きるにあらず」と言っているように、物質的なものだけではなく、精神的なものも含まれます。

【学校ができる環境整備】

学期末を迎える7月の学校経営の重点を「環境を整えること」としました。具体的には、子供たちの生活・学習環境となる教室や廊下などの整理整頓や清掃活動の充実、人的・精神的環境となる教師自身が「大人モデル」としての意識を高めるように努力してまいります。

【家庭ができる環境整備】

ぜひ、お子様が「早寝・早起き・朝ごはん」を励行できるよう、ご指導お願いします。また、お子様に自身の部屋の整理整頓や掃除をさせたり、家族の一員としての役割分担をさせたりするなど、自ら環境を整備できるようにしていきましょう。さらには、親子の対話や家族時間を大切に精神的な環境整備もお願いします。

【地域ができる環境整備】

引き続き、子供たちの安全・安心を守るための見守りをお願いします。時に、子供たちが羽目を外した行動を取ることもあります。そのようなときは、ご指導をしていただけると幸いです。子供たちの健やかな成長のために、地域の皆様のご協力は欠かすことができません。よろしくお願いします。

環境が人をつくりませんが、その環境は人が作ります。学校・家庭・地域が一体となって、子供たちの健やかな成長のための環境整備をしていきましょう。

